

講義名	フードサービス論			授業形態	
担当教員	白鳥 和生 / 白鳥 和生		開講期・曜日・時限	前期 月曜日 3 時限	
	単位数	2	履修開始年次	3 年生	ナンバリング・コード SOC362

主題と概要

・外食産業の市場規模はコロナ禍による影響から市場は縮小した。だが、コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行、インバウンド（訪日外国人観光客）の増加などを背景に市場は急速に回復している。そうした中、原材料費の高騰や人手不足、円安などが、外食産業の経営に大きな影響を及ぼしている。

・食を巡っては、従来の「外食」「内食」「中食」といった垣根が崩れつつあり、フードサービスは持ち帰りやデリバリーなどにも力を入れ、生活者に近づこうとしている。日本国内の人口減少に伴う市場縮小もあって、有力外食企業は海外への出店を積極化している。

・本授業では外食の歴史から最新の動向までを概観しつつ、経営の仕組みと収益構造、さらに業界全体を見渡した課題と展望を多角的に学ぶ。

到達目標

・外食産業ならびに「食」関連の業界の現代的課題を理解し、今後のあり方の方向性を自分なりに考えられる。

・そして今後の日本社会における外食産業役割について根拠を示して自身の意見を述べることができる。

・生活者の一人として食に関心を持ち、持続可能な食あるいはフードビジネスとは何かを理解できる。

提出課題

学習した内容に基づく課題の提出を、その都度指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

・課題レポートについては要点について解説する。

評価の基準

・授業への参加姿勢：30%、レポート70%

履修にあたっての注意・助言他

・外食産業や中食産業、食に関する話題に目境から関心を持ち、関連記事や専門雑誌などによる情報収集することを期待する。

・授業にあたっては、受講者の履修を妨げる行為は厳禁であり、互いが真摯に学び合う姿勢が大切である。

・教科書は必須とする。

教科書

・『フードサービスの世界を知る。』	白鳥和生	創成社	2640	978-4794426
-------------------	------	-----	------	-------------

参考図書

・『フードサービスの教科書』	茂木信太郎	創成社	1750	479442504X
・『現代フードサービス論』	日本フードサービス学会	創成社	2530	4794424612

その他

授業計画

- ガイダンス
予習内容：シラバスを確認し、学びたい内容を確認する（120分）
復習内容：講義内容を整理し、理解を深める（120分）
- 外食産業とは（外食産業の分類・事業内容）
予習内容：テキストを読み込む（120分）
復習内容：講義内容を整理し、理解を深める（120分）
- 外食産業の現状（市場規模・市場動向）
予習内容：テキストを読み込む（120分）
復習内容：講義内容を整理し、理解を深める（120分）
- 外食の歴史（成り立ちから産業化への軌跡）
予習内容：テキストを読み込む（120分）
復習内容：講義内容を整理し、理解を深める（120分）
- 外食企業のケーススタディ 1
予習内容：テキストを読み込む（120分）
復習内容：講義内容を整理し、理解を深める（120分）
- ライフスタイルの変化と外食産業
予習内容：テキストを読み込む（120分）
復習内容：講義内容を整理し、理解を深める（120分）
- 外食産業の指し手
予習内容：テキストを読み込む（120分）
復習内容：講義内容を整理し、理解を深める（120分）
- 外食企業のケーススタディ 2
予習内容：テキストを読み込む（120分）
復習内容：講義内容を整理し、理解を深める（120分）
- 外食産業の課題 1
予習内容：テキストを読み込む（120分）
復習内容：講義内容を整理し、理解を深める（120分）
- 外食産業の課題 2
予習内容：テキストを読み込む（120分）
復習内容：講義内容を整理し、理解を深める（120分）
- グローバル化と外食産業
予習内容：テキストを読み込む（120分）
復習内容：講義内容を整理し、理解を深める（120分）
- 外食企業のケーススタディ 3
予習内容：テキストを読み込む（120分）
復習内容：講義内容を整理し、理解を深める（120分）
- グローバル化と外食産業
予習内容：テキストを読み込む（120分）
復習内容：講義内容を整理し、理解を深める（120分）
- 外食産業の今後の方向と役割
予習内容：テキストを読み込む（120分）
復習内容：講義内容を整理し、理解を深める（120分）
- まとめ（期末レポート）
予習内容：14回の講義を振り返る（240分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

・本科目は、「食」の世界を学ぶことを通じて、本学の教育の目標である「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」を育成するとともに、「業界界の動向や問題点を理解するための基礎知識を身に付け、これをもとに、企業マネジメントに関する問題探索、課題提案ができる」という商学部卒業認定・学位授与の方針に沿った能力を身につける科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

・パワーポイントを使用した講義形式で、映像資料なども適宜活用する。

実務経験の有無及び活用

・実務経験あり（1990年4月～2024年2月、日本経済新聞社勤務）

備考